



住みよい町づくりへ  
議会と住民をつなぐ

第**47**号

平成22年10月20日

# 河津町議会だより



第23回 杉浦杯争奪剣道大会（9月23日・河津中学校体育館）

## 主な内容

- 平成22年第3回定例会（要旨）…………… 2～3 P
- 町長の行政報告…………… 4～5 P
- 一部事務組合報告…………… 5 P
- 一般質問…………… 6～7 P
- 議長の主な活動報告、私もひと言、他…………… 8 P

## 平成22年 第3回定例会 (要旨)

平成22年第3回定例会は9月2日から9日まで開かれました。初日は町長の行政報告につづいて2名の一般質問が行われ、報告案件2件、人事案件2件、条例案件1件、補正予算5件の審議、2日目から21年度決算認定10件、発議1件の各議案が審議されました。決算10議案は決算審査特別委員会に付託され、審査の結果、意見書を附帯し認定。他の議案は原案通り可決承認採択されました。

### 可決された補正予算、その他

- 平成21年度決算に基づく河津町健全化判断比率の報告  
平成22年度に公表する健全化判断
- 平成21年度決算に基づく河津町公営企業の資金不足比率の報告  
平成22年度に公表する資金不足比率
- 副町長の選任  
田方郡函南町塚本174番地の1 三須敏郎氏を選任
- 固定資産評価審査委員の選任  
河津町見高2312番地の1 土屋利信氏を選任
- 河津町職員の旅費に関する条例の一部改正  
河津町職員の旅費に関する条例の一部改正
- 平成22年度河津町一般会計補正予算(第4号)  
歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ55,190千円を追加し、総額をそれぞれ3,568,833千円とする。
- 平成22年度河津町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)  
歳入歳出の総額に歳入歳出それぞれ300千円を追加し、総額をそれぞれ1,238,736千円とする。
- 平成22年度河津町老人保健特別会計補正予算(第1号)  
歳入歳出予算の総額に3,277千円を追加し、総額をそれぞれ11,193千円とする。
- 平成22年度河津町介護保険特別会計補正予算(第2号)  
歳入歳出の総額に2,325千円を追加し、総額をそれぞれ680,644千円とする。
- 平成22年度河津町水道事業会計補正予算(第2号)  
予算第3条の収益的支出の予定額178,778千円に3,000千円を補正し、181,778千円とする。



## 決算審査特別委員会

### 決算10議案を審査、認定

平成21年度決算10議案(河津町一般会計、河津駅前広場整備事業特別会計、河津町土地取得特別会計、河津町国民健康保険特別会計、河津町老人保健特別会計、河津町介護保険特別会計、河津町国民宿舎「かわづ」運営事業会計、河津町後期

高齢者医療特別会計、河津町水道事業会計、河津町温泉事業会計)は、決算審査特別委員会(萩原清男委員長)に付託されました。総務課、窓口税務課、保健福祉課、議会事務局、産業振興課、建設課、教育委員会に関する事務及び農業委員

会に関する事務をそれぞれ決算審査いたしました。

決算審査特別委員会は意見書を附帯して認定すべきものと決定しました。本会議上、萩原決算審査特別委員会委員長の報告を受け、全員賛成で認定されました。

### 平成21年度 決算審査特別委員会附帯意見書

1. 町税等の長期滞納者へは、徴収努力と財産差し押え事務を含め時効停止の措置をされたい。
2. 町民の予防医療のため、子宮頸ガンほか各種ワクチンの負担金助成を検討されたい。
3. 野猿をはじめ鳥獣害の甚大な被害が全町に見られるので、近隣市町と協調し抜本的対策を図られたい。

### 第4回臨時会

7月20日に開かれた第4回臨時会は以下の議案を可決しました。

- 報告第3号  
専決処分報告について  
車両事故による損害賠償額を定めることについて  
損害賠償額96,600円を損害保険で支払う。
- 承認第7号  
専決処分の承認を求めることについて  
平成22年度一般会計補正予算(第2号)  
歳入歳出それぞれ668千円を追加し総額をそれぞれ3,510,535千円とする。
- 議案第45号  
平成22年度地方特定道路整備事業荻の入2号線道路拡幅工事請負契約について  
48,132千円で株式会社大塩組と契約
- 議案第46号  
平成22年度河津町一般会計補正予算(第3号)  
歳入歳出それぞれ3,108千円を追加し、総額をそれぞれ3,513,643千円とする。

## 第3回定例会 町長の行政報告(抜粋)



### ●平成21年度決算

普通会計決算額は、歳入43億2,668万円(対前年度比2.4%増)歳出40億8,402万9千円(同比2.2%増)歳入、町税は5.5%減、固定資産税4.1%減、国庫支出金では国の政策による補助金交付金により増額。繰入金については平成20年度完成した学校給食センター建設基金等の繰入がなく減額。健全化判断比率については実質公債費比率12.4%、将来負担比率76.2%、当町の財政は健全財政である。

### ●河津町第4次総合計画策定状況

平成23年度から平成32年度までの10年間の将来像の町民1,200人にアンケート調査し、66%が住みよい町、一方少子高齢化の不安もあると回答。

### ●町税等の収納状況

町民税等一般会計95.14%、国保税89.69%、後期高齢者医療制度の保険料は普

通特別徴収合計で99.89%で県下1位の徴収率、県滞納整理機構への平成22年度の移管は10件、2,132万円で8月末で3件395万円の完納。

### ●特定健康診査

国民健康保険加入者で40歳以上1,851人対象者に対し、532人が受診、後期高齢者は774人の対象者に対し、191人が受診した。

### ●子育て支援への取組み

新たな支援事業として「子育て交流サロン」の設置。このサロンは子育て中の親子が気軽に訪れ、交流の場としての施設、サポーターを配置し、場所は保健福祉センターの1室を活用、時間は役場開庁日の午前10時から午後4時まで。

### ●学童保育の取組み

これに関するアンケート調査実施、150件を超える回答を得た。その他に検討会の開催の周知をした所多数参加希望者があり、抽選で決定。また今後は近隣市町を見学し研究協議したい。

### ●共立湊病院組合新病院建設事業の状況

社会医療法人ジャパン・メディカル・アライアンスが新指定管理者に決まる。平成24年5月に新病院開院予定。15年間の指定管理である。

### ●夏の観光状況

海水浴場の入込みは、今井浜で55,229人(前年比112.5%)河津浜で6,437人(前年比151.6%)。バガテル公園入園状況は8月末の累計で、43,266人(前年比79.3%)温泉施設では、見高入谷高原温泉では、8月末累計で3,963人、踊り子温泉会館が30,990人(前年比99.5%)、サンシップ今井浜が15,541人(前年比105.6%)。

### ●伊豆観光圏

本町と伊東市、下田市、東伊豆町、南伊豆町の2市3町での「伊豆観光圏整備計画」国の補助を受けることができなくなったが、県の補助を受けることが出来事業を展開していく各市町の負担割合が示された。

### ●河津桜サミット開催

河津桜まつりも20回を数え100万人イベントとして定着してきた。こうした中で「河津桜とまちづくり」の取組みを中心とした河津桜サミットの開催を計画した。

### ●観光施設整備事業

桜並木整備工事は、8月31日に入札を実施し、さくら建設㈱が落札し、1,474万2,000円で契約した。

### ●農業関係事業

県単独農業農村整備事業で、梨本地区の県単水路改

修工事については、施工延長116mで土留工55㎡土留柵45mを施工、㈱大塩組が落札し、183万7,500円で契約した。

### ●道路新設改良事業

地方特定道路整備事業で町道荻ノ入2号線道路拡幅工事は、初景橋から168.3m間を平均幅員5mに拡幅工事で㈱大塩組が落札し、4,813万2千円で契約した。繰越事業で町道荻ノ入1号線改良工事は、施工延長46.1mでロックボルト工830㎡を施工、東海建設㈱が落札し、4,462万5千円で契約した。

この工事に伴う用地買収測量を㈱日測コンサルタントが落札し、143万8,500円で契約した。

### ●道路維持及び河川維持事業

6月23日の豪雨により、町道の法面崩壊が3箇所、落石等が3箇所、土石流出が1箇所、早急に修繕。

### ●水道事業

県事業の田中バイパス工事に伴って、歩道部349mにポリエチレン管埋設する水道管工事は東海建設㈱が落札し、837万9千円で契約した。その他送水管の老朽化

による破損事故また、大堰浄水場の耐震構造化の早急な実施が必要。

### ●入札を実施した工事の進捗状況

河津中学校バックネット補修工事は、㈱大塩組が落札し、189万円で契約した。西小学校校庭フェンス補修工事は㈱大塩組が落札、220万5,000円で契約した。繰越事業の南小学校校舎屋上改修工事は、東海建設㈱が落札、3,757万7,400円で契約した。

## 一部事務組合の議会報告

### 下田地区 消防組合議会

8月26日に定例会が開かれた。平成22年2月1日から7月31日までの事業報告があり、火災発生件数は12件で前年比4件の増、河津町の発生件数は2件で1件の増、救急出動は1,292件で1,208人を搬送、河津分署は218件で9件の増、ドクターヘリは、55件の要請、54人が搬送された。予防業務は、河津町63件の立入検査を実施。議案は専決処分承認。平成21年度決算認定歳入821,286,943円、歳出810,508,073円、その他22年度補正予算1件を可決。

### 共立湊病院組合

#### ●8月25日、定例会

管理者の諸般の報告、山田、横嶋両議員の一般質問につづき次の議案を審議し、いずれも可決認定された。監査委員に関する条例の一部改正。補正予算。病院会計決算。介護老人保健特別会計決算。監査委員の選任。

#### ●10月4日、全員協議会

南高跡地に建設予定の新病院の指定管理者JMAは静岡県では社会医療法人の認定がなく、指定管理者になる事ができない。従って、静岡県内での資格の取得を目指すとの報告があった。

### 伊豆斎場組合

8月26日組合議会8月定例会が下田市で開かれた。管理者の石井下田市長の行政報告で、西伊豆町の使用料減免や、19年から行われた火葬炉等の耐震工事が完了との報告があり、今後15年間は対応出来るとの見通し。

認定第1号、平成21年度歳入歳出決算を認定。

報告第1号、専決処分として22年度補正予算(1号)指定金融機関の指定変更を承認。

議案第4号、22年度の補正予算(2号)を承認。

# 湯ヶ野地域の観光開発は

## 町長ー地元活性協議会と協議を

質問…湯ヶ野地域の観光開発は早期に活性化計画を。外国人インバウンド対策としてのサービスの提供は。参加型の加工体験、特産物の提供も良いのでは。

町長…上地区の活性化協議会とで町づくりを進めねば

と考える。静岡空港から伊豆半島へ、富士山も見え温泉、海の幸も豊富で誘客対策を講じないと、河津の損失になる。今後は伊豆東海岸の国際モデル事業と連携し誘客に努めたい。

### 負の財産をいかに解決

#### 町長ー情報公開し、努力したい

質問…町民に知らせる情報が少ない。負の資産は長期的事業で経営内容が良くない事業ばかりだ。不能欠損金はいかに解決するか。

町長…各施設のみでなく行政を含め情報公開が必要と考える。極力時効による欠損を出さぬよう努力する。



伊豆踊り子文学祭



土屋 稔太郎 議員

### 荒廃農地対策は

#### 町長ー体験農業的に人口増になれば

質問…荒廃農地対策として、貸し農園や農業体験による喜びを感じる農業従事者の育成、また鳥獣対策は。

町長…荒廃農地対策は町外から体験農業的に貸し農地として荒廃地を防ぎ、人口増加に繋がれば良いと思う。鳥獣害対策は猟友会の協力で対策を講じ、東伊豆町と連携して取り組む。

質問…お年寄りの生活不安を無くす対策は。町外者で町を思う心ある人達の意見を求める組織づくりは。任意摂取ワクチンの助成は。

町長…民生委員や包括支援センター等公的サービスを実施し、高齢者の不安解消に努める。町内者が気が付かない点を見出してくれるような提案もある。多くの方の提案を受け実施出来たら。任意摂取ワクチンは生活支援として助成したい。

# 学童保育実現への進捗状況は

## 町長ー可能であれば、前倒しで実施

質問…家庭対象のアンケート調査結果は。進捗状況は。

町長…保育園、幼稚園、各小学校のご協力で、約81.6%、151名の保護者から回答頂き、集計の結果、利用希望者が86名になる。南小学校に余裕教室がなく施設設備の課題、送迎の問題、障害児への対応等を検討し、特色のある学童保育を進めたい。

質問…預かり時間も最低で

田中・笹原バイパスの整備計画は

#### 町長ー整備方針を決め、対応したい

質問ー町内で一番重要な役場前から笹原サークルK付近までの田中笹原バイパス及び田中から見高入谷エリアへの道路の整備計画は。町長ー上峰から役場への田中バイパスは平成23年度に橋梁の完成、24年度に舗装工事を行い、25年度に事業が完了の予定。笹原から役



沢田バイパス (沢田地内)

も6時位までどうか、平成23年4月実施目標になるか。

町長…4月実施に向け色々検討を重ねなければならないが、多くの希望があるので可能であれば前倒しをして実施したい。

場までの600mは整備方針を決め、田中地区、地権者の方々のご理解を頂きながら方向性を決めなければならない。見高入谷・田中道路については今後ふるさと農道整備事業が継続されれば、県に要望したい。

#### 南禅寺仏像の保存計画は

#### 町長ー老朽化保存建物の建替えを

質問…南禅寺の静岡県内最古の薬師如来座像をはじめとする26体の格式高い仏像が保存されている。今後の保存計画は。

町長…保存の建物が老朽化

し、建替えの要望が出ている。施設の整備についても、地域振興、観光振興に繋がる建物の建設を検討している。駐車場の整備も進め、



宮崎 啓次 議員

観光施設としての環境整備もしたい。保存については、谷津区にお世話になり管理して頂いている。文化財であるので教育委員会がしっかりと保存について対応する。

質問…今後のスケジュールは。

産業振興課長…県下で観光事業に対する要望が増えている。県の一定の枠の補助金だが、県と協議し、来年度中には実施したい。管理面は谷津区と協議する。

#### 福祉バスの進捗状況は

#### 町長ー今後試行運転をし、実態調査を

質問…河津は集落が分散した地域である。福祉バスが検討されていると思うが、進捗状況は。

町長…区長会を通してアンケート調査を実施した。上佐ヶ野、大鍋、泉奥原地区、あるいは下地区でも大きな期待が寄せられている。公用車で上地区3地区対象に試行運転をし、実態調査、検討したい。



山田 勇 議長

**議長の諸般の報告と  
議会の動き**

- 6月21日 富士山静岡空港  
利用促進会議(静岡市)
- 6月22日 平成22年5月分例  
月出納検査結果報告書を受ける
- 6月30日 河津町夏期対策連絡協議会(役場)
- 7月5日 議会広報編集委員会
- 7月9日 夏の交通安全県民運動街頭広報(湯ヶ野地内)
- 7月12日 議会広報編集委員会
- 7月17日 今井浜海水浴場海開き(今井浜)
- 7月20日 河津町議会第4回臨時会
- 7月21日 平成22年6月分例月出納検査結果報告書を受ける
- 7月27日 賀茂郡町議会議長会(東伊豆町)
- 7月27日 伊豆温泉所在5都市議員研修会(伊豆市)
- 8月18日 静岡県市町議会

議員研修会

8月23日 平成22年7月分例  
月出納検査結果報

告書を受ける

8月27日 議会広報編集委員会

～私もひと言～

私とボランティア

私は平成10年4月1日付で河津町交通指導員を委嘱されました。平成22年4月1日から指導員会会長と云う大役を仰せつかりました。もとより浅学非才な私ですが、交通指導員の皆様のご協力を頂き、会の発展に努力していきたいと思っております。毎朝児童の登校時の通学指導、春夏秋冬の交通安全運動、各種イベントへの参加協力等、本会は自動車社会の発展に伴い交通事故から子供を守る事を目的に昭和51年発足致しました。現在は安全対策も充実されつつありますが、反面交通量が大変多くなっ

て、特に観光シーズンになりますと各種イベント等により観光客が来町不慣れな運転が多く、交通事故の増加が懸念される所であります。この様に我々交通指導員は児童生徒を安全に登校させる事を使命に思っ毎日々頑張っております。子供達の「おはようございます」の一声、元気な大きな声で挨拶を交わすと「よし明日も頑張ろう」と云う気が湧いてきます、今後も町内より交通事故を無くすよう我々交通指導員は一丸となって一生懸命努力してまいります。これには行政、警察の方々を始め、町民の皆様のご協力無くしては達成出来ません。

河津町小鍋 鈴木逸男

議会一口メモ

専決処分

本来、議会が議決又は決定しなければならぬ議案について、特定の場合に(町)長が一存で決める事をいう。議会が成立しないとき、議会招集の時間がな

いとき、議会が議決しないとき、又は議会の権限に属する軽易な事項につき議会の委任に基づく場合など、(町)長の専決処分が認められている。しかし、最近マスコミを賑わしている様な専決処分の乱用は絶対にあってはならない。

編集後記

今回の河津町議会だより第47号の編集、発行で4年間たずさわって来た、5人のメンバーでの作業も今回で最後となり、4年間32号の発行を始めとし、今回47号までの16刊の発行でした。この議会だより発行にあたり協力をいただいた町民の方々、同僚議員、町職員の皆様には感謝いたします。今後メンバーが変わっても協力をお願いします。

(吉田)